

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 永興ながむね 啓はじめ

LAユリの栽培

経営上の特性

LAユリは比較的新しい交配のユリです。このユリは草勢が強く、栽培しやすいのが特徴です。他の種類のユリは1つの球根で、1回だけ栽培することが多いですが、このユリは何回も栽培することができます。



作型の一例

8月下旬にハウス内で定植すると、11月に1回目の切り花ができます。切り花後に、球根をそのまま据え置くと翌年5月ごろに、2回目の切り花ができます。

栽培の方法

●品種

品種・花色はたくさん種類があり、黄色、ピンク色、赤色、白

色など豊富です。

●植え付け

夏期高温期に植え付ける場合は、花蕾はなぼたけ（株の中心や先端にできるつぼみ）への生理障害を避けるため、寒冷紗かんれいしや（粗く平織りで織り込まれた布。防虫や遮光などに利用される）などで地温を下げる工夫が大切です。

また、ハウス内で栽培すると、栽培時期の幅を広げることができただけでなく、品質向上にもつながります。

●生育中の管理

ユリに限らず、球根類の多くは生育中に十分な水分が必要です。そのため、土壌が乾き過ぎないように注意する必要があります。ただし過湿は厳禁です。

●病害虫

病気ではボトリチス病（葉枯れ病）に注意し、病斑（植物の茎や葉が病気に侵され、まだらになる状態）が見え始めたら早めに薬剤散布を行う必要があります。

害虫では、クビナガハムシに特に注意が必要です。捕まえるか定期的に殺虫剤を散布してください。

問い合わせ

農業振興課 農業振興係
☎0824・73・1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介します。まちを知り、地元の新たな魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



東城町での生活を
楽しんでいる
別所 リンさん

岩手県から東城町の古民家にイターンし、地元の皆さんとの生活を楽しんでいる別所さんに話を聞きました。

理想の我が家を探して

イターンのきっかけは7年前です。私は岩手県で生まれ育ったのですが、鳥取県の大学に進学していたこともあり、中国5県で犬や猫と暮らせる家を探していました。

その時に、たまたま「庄原空き家バンク」で風情のある古民家を見つけ、東城町への移住を決めました。その際、リフォームをお願いして出会ったのが、前号で紹介された佐伯建設の佐伯真史さんです。

地域の皆さんと一緒に

私は具体的な目的があり、移住したわけではありません。仕事も決めていませんでした。しかし、地域の皆さん

の頼まれごとには何でも応えようと思っていました。ありがたいことに、地域の皆さんが親切に迎えてくれたことで、安心して生活ができています。また現在は職場にも恵まれ、水道管などの配管の仕事をさせてもらっています。

私が住んでいる地域では、行事などがある時には、よく声が掛かります。地域の皆さんと作業をするときは、参加者全員が一生懸命働いていて、頭が下がります。同時に、一緒に作業していることで、地域の一員である実感ができ、うれしく感じます。

新しい地図

庄原市での生活は新鮮で、出掛ける度に新しい発見があります。自分の中の地図が広がっていく感じがして、毎日が楽しいです。今一番のお気に入りには、朝の通勤で見える東城町の山々の景色です。

SNSの投稿募集中

「#庄原が好き」
で投稿！



▲投稿を
チェック

問い合わせ

自治定住課 定住推進係
☎0824・73・1257